



令和7年2月10日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

令和7年2月1日(土)午前10時頃、海上自衛隊は、沖縄本島の南東約50kmの海域において、同海域を南進するロシア海軍ヴィシニャ級情報収集艦(艦番号「535」)を確認した。

その後、当該艦艇が1日(土)から2日(日)にかけて、沖縄本島南東の接続水域内を含む海域を東西に遊弋し、4日(火)に喜界島(鹿児島県)南東の接続水域内を北東進し、7日(金)から8日(土)にかけて、宮崎県沖東の接続水域内を含む海域を東西に遊弋した後、9日(日)に大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行したことを確認した。

なお、当該艦艇は令和6年11月11日(月)から12日(火)にかけて対馬海峡を南西進した後、同月14日(木)に沖縄本島と宮古島(沖縄県)との間の海域を東進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第14護衛隊所属「せんだい」(舞鶴)、第1海上補給隊所属「とわだ」(呉)、第1航空群所属「P-1」(鹿屋)及び第5航空群所属「P-3C」(那覇)により、警戒監視・情報収集を行った。

ヴィンニャ級情報収集艦 (艦番号「535」)



行動概要

